

第51回 総合 研修会

勸信求往 一歩に信と共に歩む

2025.11.26 WED

会場 沖縄県男女共同参画センターているる

タイムテーブル

- 10:00 受付開始
- 10:30 開講式（ているる）
- 11:00 研修 新里 堅進 氏（60分）
- 12:00 休憩（軽食）
＊休憩後、バス移動にてフィールドワーク
- 12:40 小桜の塔 慰霊法要
- 13:00 フィールド① 対馬丸記念館（90分）
ワーク
- 15:00 慰霊の塔 慰霊法要・講話
- 15:30 フィールド② 旧海軍司令部壕（90分）
ワーク
- 17:30 閉講式（ているる）
＊参加者多数の場合は、2グループに分かれてフィールドワークを行います

お申込みはこちらから

令和7年10月26日(日) ✕切

Googleフォームにて各自でお申し込みください。

 <https://x.gd/qm12P>



参加費

5,000円（バス代・軽食代・保険料等含む）

＊各教区浄青事務局を通じて事前にお振り込みいただきます。

服装

- 平 服（慰霊法要を行いますので節度ある服装でお願いいたします）
- 改良服
- 浄青袈裟
- 日課数珠

＊11月11日（火）以降のキャンセルにつきましては、参加費を全額ご負担いただきます。

＊当日は修学旅行生が多く、直前ですと飛行機やホテル等の予約が難しくなるため、お早めのご手配をお願いいたします。

お問い合わせ

第28期全国浄土宗青年会 事務局

〒292-0067

千葉県木更津市中央1-5-6 選擇寺内 山本和明

山本和明（事務局長）090-4369-5526

後藤史孝（事務局）090-4067-9358

理事長挨拶

聖号十念

時下 会員の皆様におかれましては愈々二利ご精進のことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。

また、平素は全国浄土宗青年会の活動に対して格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

この度、「勸信求往ーともに信じ 共に歩むー」という活動テーマのもと、下記の通り第51回総合研修会を開催いたします。折しも終戦から80年目を迎える本年、先の第二次世界大戦並びに太平洋戦争末期に激戦の舞台となった沖縄の地へ集い、手記や歴史資料の綿密な調査と体験者への精力的な取材を続けてこられた劇画家・新里堅進氏によるご講演、さらには戦争の実像に迫る「対馬丸記念館」と「旧海軍司令部壕」でのフィールドワークを通して、戦没者への追悼と世界平和への想いを新たに結んでまいりたく存じます。

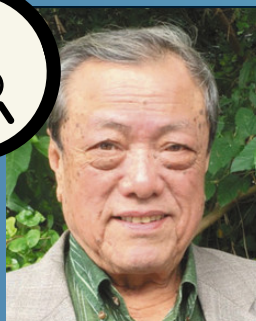
そして、次代を担う浄土宗の青年僧侶として、釈尊が説かれた「兵戈無用」の世を願い、法然上人が望まれた「万民救済」の御心を深く刻みながら、共に祈りのお念佛を紡いでまいりましょう。

ご法務ご多端の折とは存じますが、万障お繰り合わせ、またお誘い合わせの上、奮ってご参加いただきますよう謹んでご案内申し上げます。

至心合掌

第28期全国浄土宗青年会 理事長 杉山裕俊

研修



しんざと けんしん

劇画家 **新里 堅進 氏** 「戦後80周年を迎え これからの未来に向けての思い」

沖縄県那覇市出身。1946年生まれ。高校在学中に沖縄健児隊の手記を読み、沖縄戦を劇画にしたいという思いから漫画家を志す。独学で漫画を描き、1973年に沖縄戦を題材とした『沖縄決戦』でデビュー。以来、約60年間にわたり沖縄をテーマとして作品を数多く執筆している。1982年、『ハブ捕り』で第11回 日本漫画家協会賞優秀賞を受賞。

フィールド
ワーク①



▶ 対馬丸事件の概要



つしままるさねんかん

対馬丸記念館

太平洋戦争中の昭和19年(1944)8月22日午後10時12分頃、長崎へ向け航行していた学童疎開船対馬丸が鹿児島県・悪石島の北西約10kmの地点で、米潜水艦ボーフィン号の魚雷攻撃により、沈没した。対馬丸に乗船していた疎开学童、引率教員、一般疎開者、兵員1,788人のうち、疎开学童784人を含む1,484人が犠牲になった。

この歴史的事実を共有し、未来に正しく伝え継ぐために、事件から60年後の平成16年(2004)の正当日に対馬丸記念館が開館された。小桜の塔は対馬丸事件で犠牲になった方のための慰霊碑である。

フィールド
ワーク②



▶ 旧海軍司令部壕の紹介



きゅうかいぐんしれいぶごう

旧海軍司令部壕

昭和19年(1944)日本海軍設営隊(山根部隊)によって掘られた司令部壕で、当時は450mあったと言われている。カマボコ型に掘り抜いた横穴をコンクリートと杭木で固め、米軍の艦砲射撃に耐え、持久戦を続けるための地下陣地で4,000名の兵が収容されていた。戦後しばらく放置されていたが、数回に渡る遺骨収集の後、昭和45年(1970)3月、観光開発事業団によって司令官室を中心に300mが復元された。約4,000名の兵士が壮絶な最後を遂げた壕内は、司令官室、作戦室などが当時のまま残され、戦争の悲惨さ過酷さを訴え、平和を願う場となっている。

会場 **沖縄県男女共同参画センターていりる**

会場へのアクセス等はこちら



【所在地】〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1
TEL: 098-866-9090 (代)



*お車でのご越しの場合は、地下の無料駐車場をご利用ください。📍 <https://www.tiruru.or.jp/>

